

平成 28 年度第 1 回豊臣石垣保存公開検討会議要旨

1. 開催日時

平成 28 年 11 月 22 日（火） 13 時 00 分～15 時

2. 開催場所

大阪歴史博物館 4 階第 1 研修室

3. 出席者

【委員】中村委員、岸本委員、小竹森委員、西形委員、伊藤委員
(順不同 敬称略)

【オブザーバー】

大阪府教育庁文化財保護課 中西総括主査

4. 議事

- (1) これまでの検討会議の経過
- (2) 発掘調査の状況
- (3) 平成 27 年度の検討会議経過報告
- (4) 石列「控柱」の整備について
- (5) 施設計画の変更案について
- (6) 今後のスケジュールについて

5. 議事要旨

- (1) ～ (4) これまでの検討会議等の経過報告等について事務局から説明

[事務局説明に対する委員意見]

- (4) 石列「控柱」の整備について

○金蔵横の控え柱の遺構表示については、作ってしまうのではなく、表示にとどめるのが妥当なところでは（岸本委員）。

○塀の構造は、金沢の例がちょうどいいかと思うが、立体復元をすることが前提ではない。説明板については、ここだけにするか、全体を統一するかということが課題になる（小竹森委員）。

- (5) 施設計画の変更案について事務局から説明

[事務局説明に対する委員意見]

○階段が 2 ヶ所で金蔵と直行する案がいいのでは（中村座長）。

○時代として現代と江戸と豊臣と降りていくときに目でそれが見えるような何か工

夫があればいいのでは（小竹森委員）。

- 建物のしつらえについて、ガラス張りにして、外から人が降りていくのが見えるとか、地下の石垣が外から見えるとか、北側の壁面のどこかから大阪城が見えるとか面白いのではないか（伊藤委員）。
- 施設の出口の位置と入口と一緒の案については、動線が交錯するので問題ではないかと思う（伊藤委員）。
- 躯体が決まらないと、外装、外壁決まらなと思うが、建物の景観やそれを含めて周りの景観から検討するとデザイン的にも効果があるのでは（小竹森委員）。
- ガイダンスに必要なスペースを精査したほうがいいのでは。全体として立体物として立ち上げる以上、出来るだけそれを小さくした方がいいし、そぎ落とす工夫を出来るだけしたうえで、石垣を見せる有効な方法を考えた方がよい（岸本委員、西形委員）。
- 1階は展示を維持するのに必要なスペースは考慮いただいていると思うが、人が入るスペースを出来るだけ取った方がいいのでは（中村座長）
- 地下の床面の高さは低くしてという事務局の案は、幅は狭くなるけれど、東西は上場で4 m、南北は2 m程度あるのであれば、迫力はあるのではないか（中村座長、西形委員、岸本委員）。

（6） 今後のスケジュールについて事務局から説明

〔事務局説明に対する委員意見〕

- 階段のあり方とか、位置とかつけ方が気になるので意見の吸い上げをしてもらえるようにしてほしい（伊藤委員）。
- モニタリングは施設が完成してからその後のことも考えないといけない（西形委員）。